



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日 東

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 平井 良也 (TEL) 0463-34-2771
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,455	1.4	717	22.2	772	20.3	483	24.0
27年3月期第2四半期	4,392	△0.7	587	△8.4	642	△8.6	390	△5.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 482百万円(19.5%) 27年3月期第2四半期 404百万円(1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	36.84	—
27年3月期第2四半期	29.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	30,334	14,938	49.2
27年3月期	30,518	14,587	47.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 14,983百万円 27年3月期 14,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,664	1.4	1,789	0.6	1,900	1.4	1,161	4.2	88.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	14,667,000株	27年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,532,967株	27年3月期	1,532,967株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	13,134,033株	27年3月期2Q	13,134,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済の概況は、個人消費に関しては総じてみれば底堅い動きとなっており、雇用・所得環境の改善傾向が続いておりますが、アメリカの金融政策が正常化に向かう中、中国をはじめとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクが残る状況でした。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺商品や新商品の販売強化及び新サービスの商品化により売上増進を図るとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、一般婚礼の集客増を図るために、ゲストテーブルを幻想的な灯りで彩り、温かな光が新郎新婦とゲストを包み込む新コーディネート「スタートリーウェディング」を中心とし、各媒体のビジュアル面の充実を図り、商品力の向上に努めてまいりました。

また、フロントスタッフの新規対応・提案力強化を継続して実施したことにより、資料請求などの問い合わせ及び成約件数が前年同期に比べ増加となりましたが、その大半は、第3四半期連結会計期間以降の施行予約となったため婚礼施行組数は減少、婚礼一組単価及び宴会件数は前年同期に比べ増加となりました。

その結果、売上高は176百万円（前年同期比12.4%減少）、営業損失は1百万円（前年同期は営業利益10百万円）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、前連結会計年度に開業した「湘和会館伊勢原」と「湘和会館赤松」が通年稼働となり、順調に施行件数を伸ばしました。

商品面では、参加型葬儀のオリジナル提案商品として、社内製作による故人を中心として惜別をする「追悼壇」、オブジェや装飾を生花と融合させた「追悼生花祭壇」、あらゆる音楽ソースを忠実に再現できる「オリジナル大型スピーカー」による音楽葬の提案を行ってまいりました。また、故人を生花で囲んで送る「花園」の生花パリエーションを更に拡充し想いを細やかに表現するとともに、葬儀・告別式後の会食においても、集う方々の年代やご要望に合わせて、一品ごとの内容を重視したメニューを選べるようにするなど、お客様の想いを今まで以上に形にするラインナップ充実を図り販売強化に努めてまいりました。

営業面では、前期に引き続き、顕在化した葬儀全般の不安や想いをカウンセリングし、潜在的な想いを上記のオリジナル商品などを通じて具現化するためのコンサルティングセールストークにまで昇華させる当社独自の研修カリキュラムを継続して実施し、生前相談の対応強化に取り組んでまいりました。また、オリジナル商品を中心とした提案型の施設見学会など、イベントの強化も継続するとともに、各種広告媒体においてはより細やかな情報発信を行い、告知活動の強化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社主要エリアの死亡人口は前年同期に比べ上昇し、シェア率も上昇したため、葬儀施行件数は増加となりました。また、葬儀一件単価は会葬者数減等の影響により前年同期に比べ減少となりましたが、売上高は3,764百万円（前年同期比2.7%増加）、営業利益は1,035百万円（前年同期比15.7%増加）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、葬儀一件単価減等の影響を受けたものの、既存会員への告知・利用促進により会員の利用数が増加となった結果、売上高は117百万円（前年同期比0.04%増加）、営業利益は57百万円（前年同期比4.2%増加）となりました。

④ 介護事業

当事業では、本年4月の介護保険報酬単価改定の実質マイナスによる影響を大きく受けたことにより、売上高は510百万円（前年同期比2.4%減少）、営業利益は29百万円（前年同期比14.3%減少）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,455百万円（前年同期比1.4%増加）、営業利益は717百万円（前年同期比22.2%増加）、経常利益は772百万円（前年同期比20.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純

利益は483百万円（前年同期比24.0%増加）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して183百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の納付及び配当金の支払により現金及び預金が488百万円減少、有価証券が償還により2,601百万円の減少となりました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が振替等により201百万円減少、供託金が3,135百万円増加しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して534百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が262百万円、その他に集約された未払消費税が132百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が102百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して351百万円の増加となりました。

キャッシュ・フローの状況は、営業活動の結果、獲得した資金は135百万円（前年同期比36.7%減少）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益772百万円、減価償却費212百万円が計上された一方で、前払式特定取引前受金の減少102百万円、売上債権の増加10百万円、仕入債務の減少18百万円、法人税等の支払530百万円が生じたことによるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は490百万円（前年同期比68.8%増加）となりました。これは、投資有価証券の償還による収入2,800百万円、有形固定資産の取得による支出121百万円、供託金の預入による支出3,135百万円によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は131百万円（前年同期比0.7%減少）となりました。これは、配当金の支払131百万円によるものであります。

これにより、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ486百万円減少し、8,101百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月7日に公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間においては、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,311,119	8,822,540
売掛金	231,105	241,902
有価証券	4,301,911	1,700,222
商品及び製品	42,984	39,807
原材料及び貯蔵品	100,698	102,433
繰延税金資産	94,528	73,612
その他	95,904	157,009
貸倒引当金	△1,814	△1,681
流動資産合計	14,176,436	11,135,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,027,131	3,895,881
機械装置及び運搬具（純額）	117,589	115,927
工具、器具及び備品（純額）	121,112	117,314
土地	7,044,970	7,046,470
その他	41,044	80,292
有形固定資産合計	11,351,846	11,255,886
無形固定資産	36,947	32,983
投資その他の資産		
投資有価証券	1,043,002	841,640
長期貸付金	30,000	30,000
繰延税金資産	256,400	256,285
供託金	1,710,000	4,845,000
その他	1,913,443	1,937,068
投資その他の資産合計	4,952,846	7,909,994
固定資産合計	16,341,641	19,198,864
資産合計	30,518,078	30,334,711

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	199,603	181,264
未払法人税等	516,882	253,887
掛金解約手数料戻し損失引当金	7,930	4,580
その他	754,584	598,669
流動負債合計	1,479,000	1,038,402
固定負債		
繰延税金負債	33,031	36,552
役員退職慰労引当金	85,764	83,912
退職給付に係る負債	84,708	90,156
資産除去債務	110,796	113,094
前払式特定取引前受金	14,115,360	14,012,389
その他	22,284	21,457
固定負債合計	14,451,946	14,357,563
負債合計	15,930,947	15,395,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	11,600,452	11,953,019
自己株式	△670,468	△670,468
株主資本合計	14,553,894	14,906,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,235	32,283
その他の包括利益累計額合計	33,235	32,283
純資産合計	14,587,130	14,938,745
負債純資産合計	30,518,078	30,334,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,392,736	4,455,082
売上原価	3,181,339	3,133,862
売上総利益	1,211,397	1,321,219
販売費及び一般管理費	624,367	603,974
営業利益	587,030	717,245
営業外収益		
受取利息	12,360	5,617
受取配当金	1,975	2,074
掛金解約手数料	13,534	13,197
掛金解約手数料戻し損失引当金戻入益	-	501
その他	33,856	37,771
営業外収益合計	61,727	59,162
営業外費用		
供託委託手数料	2,636	1,893
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	2,267	-
保険解約損	337	726
その他	1,088	899
営業外費用合計	6,330	3,520
経常利益	642,427	772,887
税金等調整前四半期純利益	642,427	772,887
法人税、住民税及び事業税	233,374	263,986
法人税等調整額	18,824	24,993
法人税等合計	252,198	288,979
四半期純利益	390,228	483,907
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	390,228	483,907

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	390,228	483,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,987	△951
その他の包括利益合計	13,987	△951
四半期包括利益	404,216	482,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,216	482,955
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	642,427	772,887
減価償却費	238,953	212,442
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額 (△は減少)	199	△3,350
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	150	△132
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,007	5,447
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	-	△1,852
受取利息及び受取配当金	△14,336	△7,691
売上債権の増減額 (△は増加)	34,543	△10,796
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,581	1,441
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,959	△18,338
前払式特定取引前受金の増減額 (△は減少)	△93,924	△102,971
その他	△30,894	△190,939
小計	748,747	656,144
利息及び配当金の受取額	14,227	9,468
法人税等の支払額	△548,942	△530,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	214,032	135,425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,490	△25,490
定期預金の払戻による収入	27,980	27,980
供託金の預入による支出	-	△3,135,000
有形固定資産の取得による支出	△272,090	△121,664
有形固定資産の売却による収入	28	120
無形固定資産の取得による支出	△1,354	△13,210
投資有価証券の取得による支出	△2,701,885	-
投資有価証券の償還による収入	2,700,000	2,800,000
その他の支出	△35,055	△52,288
その他の収入	17,378	29,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,488	△490,234
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△132,162	△131,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,162	△131,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208,618	△486,088
現金及び現金同等物の期首残高	6,488,619	8,587,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,280,000	8,101,295

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	201,597	3,666,618	744	522,662	4,391,621	1,115	4,392,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	117,048	—	117,048	—	117,048
計	201,597	3,666,618	117,792	522,662	4,508,669	1,115	4,509,785
セグメント利益	10,144	895,755	55,555	34,918	996,373	210	996,584

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	996,373
「その他」の区分の利益	210
全社費用(注)	△409,553
四半期連結損益計算書の営業利益	587,030

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	176,579	3,764,323	14	510,104	4,451,022	4,059	4,455,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	117,827	—	117,827	—	117,827
計	176,579	3,764,323	117,842	510,104	4,568,850	4,059	4,572,909
セグメント利益又は損失(△)	△1,529	1,035,941	57,876	29,941	1,122,228	724	1,122,953

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,122,228
「その他」の区分の利益	724
全社費用(注)	△405,708
四半期連結損益計算書の営業利益	717,245

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。